令和7年度第2回（5月）宇検村農業委員会定例総会 議事録

日 時 令和7年5月26日（月）午前9時から

場 所 活性化センター「結いの館」

出席した委員 8名

1. 渡委員
2. 保池委員
3. 坂井委員
4. 時田委員
5. 前田委員
6. 森委員
7. 重野委員
8. 石原委員（会長）

欠席した委員

なし

出席した職員

推進員2名（新元・杉浦）、事務局3名（産業振興課 柳、古島、桑野）

議事概要

- 1 議事録署名委員の選出 委員4・委員5を指名
- 2 会期の決定 令和7年5月26日（月）の1日間に決定
- 3 諸般の報告 5月19日 会議出席報告
- 4 協議事項 議案第2号 農地法第3条について（可決）
議案第3号 農地法第3条について（可決）
- 5 その他
(1) 前回総会時の意見への回答
(2) について
(3) 次回定例総会の日程について

議事詳細

3 諸般の報告

「令和7年度市町村農業委員会会長・事務局長等会議」

令和7年5月19日にマリンプレスかごしまで開催、会長・事務局長が出席。農業者年金、農業新聞加入促進等の説明があったとの報告があった。

4 協議事項

議案第2号・第3号 農地法第3条の規定による許可申請書について、事務局より申請資料の朗読と説明を行った。質疑応答の後、全会一致で可決した。

【議案第2号】

事務局 渡し人A地区のaさん、受け人がA地区のbさん、所有権の移転。所在地は、A地区の--番地、地目は登記簿は田、現在は畑。1272㎡。隣に受け人の大きい

園があり、引き続きコーヒーを植栽して面積拡大をしたいということを伺っています。

委員4 譲渡人のaさんと話を聞いたところ、身体的に農業をするのがきついという事で、現在3筆持っているが、そのうちの1筆を譲りたいとのこと。bさんが場所的にも（隣で）一番良かったので、コーヒーを植えようということでした。

事務局 県道沿いのカーブのところですか。コーヒーもいい感じに育っています。

議案第1号について、質疑なしのため協議を終了。挙手により採決し全会一致で可決した。

【議案第3号】

事務局 渡し人が大阪府のcさん、受け人がA地区のdさん、所有権の移転。全部で12筆あります。すべてA地区、無償。一番地、地目は登記簿は田、現況は畑、221㎡。一番地、登記簿は田、現況は畑、89㎡。一番地、登記簿は田、現況は畑、72㎡。一番地、登記簿、現況とも畑、714㎡。一番地、登記簿、現況とも畑、436㎡。一番地、登記簿、現況とも畑、446㎡。一番地、登記簿、現況とも畑、336㎡。一番地、登記簿、現況とも畑、836㎡。一番地、登記簿は田、現況畑、1292㎡。一番地、登記簿、現況とも畑、1094㎡。一番地、登記簿、現況とも畑、772㎡。一番地、登記簿、現況とも畑、52㎡。面積の計が6360㎡。

担当委員と現地をまわったんですが、山側になっていて場所の確定が出来ないところは地図上だけで示しております。基盤整備が終わっていて場所が確定している所は写真を添付しています。今後、所有権の移転等で山にある田や畑を譲り渡したい場合も、山の中のこころ辺というのは、はっきりわかりません。わかる分につきましては委員と確認をしています。

他の資料は、水土里情報システム上の字図上の場所で推定した場所です。

今回、12筆の移転ということで、dさんが果樹をしっかり作っていくという意思がありました。

委員4 12筆のうち4筆だけ写真が撮れたんですが、そのうちの1筆は野菜等植えられて管理されていました。あとの3筆は現状、農業するのに困難です。2筆は竹林になっていました。

事務局 渡し人はもう都会のほうに行かれ、土地、財産をシマの人に引き継ぎたいという形で、無償の所有権移転だと思います。これから果樹、園芸、ハウスなど、色々な事業をする場合、土地自体に登記がされていないと出来ないといった事態が発生しますので、登記をしっかりするという意味ではすごく有難い。現在荒れているが、何かを興してやろうという時には、登記ができていたら次につながる。これからもこういった案件が増えてくると思います。国としても登記をやってくださいと進めているので、引き継いで行ける形に出来たらと思います。

- 会長 親に譲ってもらうなどの時でも、なるべく早く農業委員会に提出して登記するようにしていただければ。自分がやりたい事業がある時には、それを利用して出来るという事ですので。なるべく早めに登記はしていただきたいと思います。
- 委員1 登記代はどれくらいかかっているの。
- 会長 農地関係はそんなに高くない、とはいっても1筆1筆です。私が贈与してもらったので、1筆で4万。自分ですれば安い。
- 推進員 前に、ばらけたものを1回でやったら少し安くなるという話があった。
- 会長 法務局に行って、資料をもらって、自分でやったほうが安く上がる。1筆1筆でお金はかかるけど、宅地でも自分でやったら5000くらいの印紙代だけ。
- 事務局 自分でする場合、農地のほうは多分つかないような形で国が進めていますので、手数料がほぼ無料だったと思います。司法書士に頼む場合は1回につき数万と、プラス件数でいくらかという形になると思います。話をすれば、金額はだいたい教えてくれると思います。
- 事務局長 山は、所有権移転をしてからdさんが日のうちの手続きをするの。
- 会長 本人がやった方が一番。
- 事務局長 cさんが非農地証明までして。
- 会長 (3条申請に) 出さなくて良くなる。山手のほうはもうなるべく、一括で贈与ということで、農地から外すということが出来るけど。
- 事務局長 原野は直接の売買で、畑だけは委員会で。
- 事務局 一帯を全体的に渡したいという本人の意向があるということ。
- 会長 この場合は宅地、原野、農地がある。宅地、原野は自分ですぐ登記が出来るが、農地だけは農業委員会に出さないと。ここの許可を持って法務局に。自分の名義にする前に相手をお願いして出来るんだったら、非農地証明のほうがいい。もう多分山手のほうは何十年も畑をしていない。出来れば原野なら原野とここに提出してもらえれば、原野にして登記をする。そのあとに売買だったり、贈与なら贈与としていただければと思います。相続だったら家族誰でも出来ますので。
- 委員5 登記も出来て、cさんも偉いし、cさんがいらっしゃる内にdさんに早く変更するのが一番いい。お互いに後の手続きがすごく大変なことになる。早め早めの登記が出来れば一番いい状態で後の方に引き継いでもらえるので、いいんじゃないですか。
- 会長 登記簿謄本で、cさんは何年か宇検村にいましたが、この住所が動く。登記でここが動いていないと、登記所に行って移動させる変更をしてからでないといけない。手続きが大変だから司法書士に頼むという人は多いです。
- 委員5 本人でやるにしてもその手続きの大変さで、あとどんどん世代が進んでわからなくなる。登記するのに対して手間暇かかるし。どこの地区にもこういう所がある。
- 会長 謄本でも、それぞれがずっと動いているのが分かりますので。それを利用して登

記所に持って行って。

議案第2号について、他に質疑なしのため協議を終了。挙手により採決し全会一致で可決した。

5 その他

(1) 前回総会時の意見への回答

事務局 4月の定例総会時に皆さんから意見等が多数ございましたので、回答、話をさせていたいただきたいと思います。

1点目に猪防護柵の更新について話がありましたが、二転三転したりして、再度大島支庁に事情を説明して、防護柵の更新もしくは新設の話をしている最中で、まだ回答が来ておりません。基本、防護柵については耐用年数、継続して使用しなければいけない年数が14年間ございますので、14年間使って、営農をしっかりやっていくというのが建前で、以降は新たに整備、更新するとかいうのが出てくると思います。その中で、今まで山のほうにやっていたやつを畑にしたいという話で、耐用年数は関係あるんですかというのの答えが来ていませんので、確認次第皆さんにお話を繋げて、こういう事で出来ますというのはいっきりして行きたいと思います。

次に、計画の取りまとめという事なんですけど、実際どこでどのような感じに防護柵をしたいかという意見等がありましたら、私のほうにお知らせを、ここで、どういう形で、何の作物を作って、営農してやって行きますので、周囲の延長距離がどのくらいになるのとか。今の段階ですぐ出来る出来ないという話は出来ないんですけど、事前に皆さんのほうからの計画が分かっていたら、そこを早急に取り組むことが出来るのではないかと思いますので、教えていただければ有難いです。先程の計画と同じく、それ次第で話を進めていけるような形だと思います。

あと、担い手の優先順位を付けて欲しいという事ですが、これに関してはまた、防護柵、補助の優先順位等色々あると思いますので、しっかりと聞きながら、農政関係及び担い手の名簿等がありますので、関係機関と話して、しっかりと育成指導していききたいというのがあればここを進めて決めたいと思います。

また試験的に個人の畑に防護柵を設置してはという意見があったと思うんですが、金網柵は効果が実際に分かっておりますので、試験的に設置はないと思います。急いでやりたい場合は、今行っております村単独事業の資材助成で対応するのか、直営施工で耐用年数が経過した後に皆さん個人個人で、自分たちで設置をしていく方法を選ぶのか、その2パターンあるので、どちらを取ってやったほうがいいのかは色々考えて進めていただけたらよろしいかとは思っています。

耐用年数が過ぎていなくても設置できるかは、基本的には超えていないと不可だと私は聞いています。ただ、内容が今までの請負工事から直営施工に変わりました。

たので、関係ないですという話になった場合は出来ると思いますが、それは確認中です。基本的には耐用年数が14年間、1回入れた場所は、経過するまでは別な方法を考えないといけないと考えております。

あと、猪柵を最優先で進めて頂きたいという事ですが、要望が多い事なので、色々出来る方法を、他の方法も考えて、出来る事がないかという事で進めていきたいと思います。産業振興課の中でも、直営施工の事業、鳥獣対策のもあったりするんです。他市町村でやっていて宇検村で出来ないという意見もあったんですが、出来ないという訳ではなく、今度個人でやるやり方であれば、考え方を変えてやるっていう事であれば出来るかもという事。今まで猪を外から防ぐ事は出来たけど、今度は中のほうに入って防げないとか、それは中のほうでどうにか対策をする、自分達で電気柵を巻いたりするとかいろんな方法があると思います。そこはまた自分に合ったやり方をして頂いたらと思います。

鳥獣の事業も、全額要望を上げて作れるのがない状態で、要望で100上げて予算が50位、この分しか出来ませんというのが、今の事業の予算状況です。どうしても急いでほしい、金網柵をやりたいという要望が沢山ありますので。先ほど村単事業の一覧で配った資料がありますが、鳥獣対策の9番目の上限1/2、これは確か令和2年に単独の鳥獣の資材事業を作り今に至っています。補助率はすべての農家の皆さん、認定農業者、組合の方で決めて、上限を10万円までにしていただんですけど、資材価格が上がってますので、限度を上げるよう考えますので、国の事業で無理であって急ぐ場合、こちらも検討してみたいかがですか。防護柵は自分たちで設置を行うということですが、基本的に直営施工です。そこはやって頂きたいと思います。

村長との協議について、農業委員の皆さんが防護柵の件に関して、皆さんの気持ちでこれをどうにか出来ないかというのを1つまとめて村長のほうに打診して、こういう状況というのであれば村長に協議する意味があって、これを進めていく、我々としても大事に進めていかないといけない、進めていけるように頑張っていきたいと思いますので。今日、村長は別の会がありますので、また日程を調整しながら、協議の場、村長さんのほうに面会、お話しをする形にしたいというのであれば、その時のタイミングでいけたらよろしいんじゃないかと思います。

こっちは単独事業なんですけど、今現在、果樹支援対策事業をやられてまして、平田のほうで取り組んでますけど、地域計画でまとめてブロック的に樹園地を拡げますよとか、ここでこういう形に将来的にやりますよとか、そういうのもすごく大事になってくると思いますので。事業としては毎年5月末までに申請を上げる期限がありますので、ご了承をお願いします。事業の窓口が農協さんになって、実際農協さんが色々アドバイスして作らないといけないっていうのはあります。どうしてもここで計画を上げたい場合、役場としては資料作成のお手伝いをします。役場のほうに来て、その場所でどういう形の計画でどうしていくかっていうのを詰めていければいいと思います。

会長

前も言ったように、何年か前からこの話は自分もしてるつもりだし、村長にも話は、皆さんと行った時、一度は言っています。村長まで行かなくてもいいですか

ら、担当、振興課のほうでちゃんと出来るのか出来ないのか。皆直営でしたいと思っています。出来る出来ない中途半端だし、聞いてもお願いしても進んでいないし、既存の防護柵やってる所で14年以上経ってないと出来ないのが、直営だと出来るのか、その確認をまずして、そうしないと計画も皆出来ない。絵にかいた餅みたい。なるべくそれを早めに県、国に確認して頂きたい。

委員5 各市町村の防護柵は、どこからの資金で助成をやっているのか。

事務局 鳥獣対策事業、国からの交付金をあてて、自分達で設置作業して資材の提供を受けるという形でやっています。

委員5 クロウサギの被害で出しているみたいだけど。村の猪被害というのは狩猟免許持っている方も少なくなって昼間も出ている状態なので、そういうものに対しての申請、湯湾ではクロウサギ入って樹皮をやられたという被害も出ていると聞くんですけど、その状況で耐用年数が来る頃は誰も農業やっていませんよ。電気柵はしょっちゅう車が通る所でちょこちょこ見に行けるんだったらいいんですけど、離れた所でパトロールに行くのは。1年間育てた物を猪が入って食われたらその年はもうお手上げ。平田地区の場合トタンを買いに行ってもコンボで穴を掘って網を立ててるんですけど、今の猪は賢くて、ピンを皆鼻ではねて、鉄筋でふさぐとまた次の所。そういう状態がずっと続いているんです。耐用年数にこだわらず、他から助成とか補助を取るようなやり方はないですか。

大体嫌になるのは猪とカラス。上限10万円は野菜農家でほんの小さい畑だったら出来ると思うんですよ。出るだけましとは思いますが、資材の値上がりを考えたらとてもじゃない。猪柵が出来るまで繋ぎで上限を上げるとか。今はネズミも多くて薬をまく、農業自体が薬剤だけで年間何十万も使う。農業で飯を食おうというのはとてもじゃないけど無理なんです。もう少し見直して色々やったほうがいいんじゃないかと思うんだけどね。とりあえずは猪柵。農家に泥棒が入った話を聞くけど、防犯のためもあるんです。柵の上にナイロンを張ると張りやすい、カラスよけにもなる。猪柵でないと難しいと思います。猪の増えようがすごいです。荒地が多いのもあるんですけど、農業人口も減って高齢化している。それをある程度止めようと思えば猪柵をしないと。猪柵があれば、トラクターさえかければ新規就農者もすぐ作物が作れる。自分で手出しをして、それだけの売り上げではとてもじゃないけど食えないと思います。もっと力を入れて色々あたって考えてもらえれば。平田だけかもしれないけど、昨日も回ったけどまた違う所からトタンを捲って来てる、そういう状態がずっと続いている。

会長 湯湾もそう。

委員5 湯湾はまだ車も通る。平田は2校区、3校区はめったに人が通らないから、猪のやりたい放題。

会長 あわてて猪が走り出すから。

事務局 参考までに、令和2年から単独助成事業で電気柵を入れた件数は、6年度まで12件。カラス避けのナイロンをさす為にならないというのはわかりませんが、猪対策であれば、すぐ対応出来ます。他の地区ではどんどん電気柵が入って行って、

今年も既に3件。場所によって、ここは金網柵が必要、ここは果樹じゃなく支柱も立てる予定もないので電気柵で、そういう考え方で進めていけば、猪が来て掘り起こされる心配も減って来るのではないかと、全滅は免れるんじゃないかと、と私は思います。かなりの効果で猪をはじいておりますので、考えていただけたら。

委員5 何か言うと電気柵を回したらという返事が返って来るんだけど、道路からの枝が折れたら漏電して使えなくなる。農家が回れば済むんですけど、見逃した時1年間育てたみかんが1日2日で枝も折られて壊れてしまった。そういうのを防ぎたいために猪柵が欲しいと陳情してるんです。小さい畑だったらさっと回れば終わりなんですけど。平田の場合畑の周りは荒れてます。毎日それを回れというのは無理なので。とてもじゃないけど僕は電気柵はやらないと、それよりはトタンを全部新しいものに変えます。開けた土地で枝もない場所だったらいいと思うんですけど、年1回しか収穫できない物で信頼して任せるのは出来ないと思います。本当に農業で飯食おうと思えばね。集落の家の周りだったり、専業で毎日畑に行ってチェックする人だったらいいんですけど。

事務局 すぐやらないといけないのであれば、電気柵であれば掘り起こして毎回やられるっていうのは防げると思いますので、全滅するという事はないと思います。色々な対応を考えて、選んでもらったらよろしいんじゃないかと思います。

会長 作物にもよる。キビだったら電気柵で十分、ネズミ対策は薬をまいておけば食べてくれるかもしれない。ただ果樹については利用が難しいかも。果樹は防護柵があって、その上に網をかけたりすれば、カラス対策にもなるし、安心してドアを開けて、中で仕事が出来ます。無難だし利用価値がある。ちょっと高くはつきますけど、果樹農家については防護柵が無難ではないのかなと思います。

委員5 早めにお願したいのは、去年平田地区でたんかんがほとんど全員やられて、猪の入口がわからないから。毎日のようにふさぐけどまた違う所から入って来るんで。役場で箱罾を仕掛けてもらって1匹は入ったけど、まだ何頭かいて困っている。相当去年はみかんやられました。枝を折るから。

会長 採る2日前に見事に2/3ぐらいやられて枝は折られて、上の方まで泥だらけ。

委員5 いいのがあれば、出来るだけ力を入れて取ってもらえれば。お願いします。

会長 来月までに出来る出来ないを話をしてもらえれば。

事務局長 基本は出来ない。やり方を変えた場合にどう、というのは、全国的に事例が少ないので、大島支庁としても判断が出来なくて、国に聞くのを調整しているところ。また来月中に。

会長 他の所は、直営でやっているところは防護柵はないの。

事務局 元々はないんですよ。うちらが山際をやっていたあとにするっていうパターンじゃないんです。

事務局長 (他市町村は) 最初から個人巻き。

事務局 自分たちの周りをやるっていうので全部したんです。やった後によそのやり方をしようとするから、外回りが耐用年数が終わっていないよね、という話です。

- 会長 山手にしたのが失敗。道路方に入れば良かった。山手だと上から水路みたいにした所から入って来る。
- 事務局長 地区を全部防ごうと思って囲んでしまったから。
- 事務局 よそとの違いは、まずスタートが違ってきます。
- 委員5 川を渡って行かないと倒木を取れない、草刈りが出来ない、あの猪防柵は失敗。
- 会長 河川から上って来る。上って来て下って逃げる。
- 委員5 当時は基盤整備をしてきれいになったから、外に回せば皆収まるなという状態だったと思います。鳥獣被害での駆除はないの？
- 事務局長 (平田で) 今使っている、その(箱罾設置の) 事業ですよ。
- 委員5 今猪とる人もいないし、猪増える一方だし。
- 事務局 それも、捕獲事業で国からの補助金が出ています。
- 委員5 里しか入らないから、中に住みついているから。中のやつを取ってくれればいいけど、山の通り道にしかかけないから。効果はないです。
- 会長 人家から何百m、離れてないと打てない。

(2) 活動記録の書き方

事務局より、活動記録簿の記入方法について再度説明があった。

(3) 次回定例総会の開催について

6月26日(木)を予定。

以上をもって令和7年度第2回定例総会を閉会した。